

フォルマシオン・ミュージカルの1テキストの内容研究

門田 幸久

A study of a Textbook on “Formation musicale”

MONDEN Yukihsa

Abstract

In this report, I studied on the education method of a textbook for “Formation musicale”, a new French education system for solfège. Conventional solfège has been completely renewed in France and the new solfège is called “Formation musicale”. On the volume 3 (for 3rd year course) in all the seven textbooks, I arranged ; (1) The summary of the education contents (of 22 lessons and 3 oral tests and 3 writing tests), (2) The contents of each training exercise (in 22 lessons and 3 oral tests and 3 writing tests), (3) Main contents of practices (of 22 lessons and 3 writing tests). Also, the characteristics of training exercises on the volume 3 were described as a conclusion. In the lessons of this textbook, appropriate musical works are selected from modern and ancient musical works, and preparatory training exercise from various angles are included mainly on the exercise for understandings and expressions for such musical works. After this, I will continue to examine the education contents of the volume 4 to 7 in these textbooks.

Key Word: formation musicale, solfège, reading music scores, interval, scale

[要約]

本稿は、フランスのソルフェージュ教育の新体制、「フォルマシオン・ミュージカル」による1テキストの教育内容について調べた。フランスでは、従来のソルフェージュは一新され、「フォルマシオン・ミュージカル」と名称が改められた。ここでは、全7巻で組まれているテキストの中の第3巻（課程3年目）について、22の課（レッスン）と3つの口述テストと3つの筆記テストの教育内容の概要、22の課と3つの口述テストと3つの筆記テストの中にある各課題の内容、22の課と3つの筆記テストの中にある実習の主な内容を、整理しまとめた。そして、このテキスト第3巻の教育課題の特徴について最後にまとめた。このテキストの各「課（レッスン）」は、古今の音楽的に適格な音楽作品が選ばれ、それらの音楽の理解と表現の獲得に向けた課題を中心に、あらゆる角度からの準備練習課題が組まれていた。今後、このテキストの第4巻から第7巻の教育内容についても、引き続き整理しまとめる予定である。

キーワード：フォルマシオン・ミュージカル、ソルフェージュ、読譜、音程、音階

はじめに

フランスにおけるソルフェージュ教育の歴史、現在のフォルマシオン・ミュージカルの教育内容については、詳細な研究論文がある¹⁾。泉谷千晶著「フランスのフォルマシオン・ミュージカルの変遷と改革 1978年以降のソルフェージュ教育の動向」の中で、従来のソルフェージュからフォルマシオン・ミュージカルへの移行について、次のように述べられている²⁾。「1978年、5月の政令により、従来の基礎科目であるソルフェージュは名称を改められ、『フォルマシオン・ミュージカル』(総合的な音楽形成科目)に一新された。(中略)この改革の要因となった問題については、概ね次のように語られてきている。それまでのソルフェージュではそれぞれの訓練を目的としたカリキュラムの細分化が、その指導法まで分断化の傾向を強める方向に進んでしまったこと、その結果、各種の訓練が高度になればなるほど本来器楽の表現に生かされるべきソルフェージュの学習が、反対に音楽から次第に離れた無味乾燥な特殊訓練で完結してしまう心配が現実に見られるようになってきたことが挙げられている。(中略)ソルフェージュ教育(知識)と器楽教育(表現)の間に広がった溝を回復することを大きな課題とし、また実作品をソルフェージュ課題の中にできる限り取り上げることで、音楽作品の理解と表現をより深め、身につけることを目標とした教授法の改善なのである。その強い願いと意志が『フォルマシオン・ミュージカル=総合的な音楽形成科目』という名称に託されているのである。」また、同論文において、1978年にフランス文化省により公表されたフォルマシオン・ミュージカルの『学習要項』についての全容と解題が書かれている³⁾。

現在、フランスではフォルマシオン・ミュージカルのテキストは多種出版されている。本稿は、全7巻で組まれている Labrousse, Marguerite 著 *Cours de FORMATION MUSICALE* (フォルマシオン・ミュージカル講義)⁴⁾の第3巻(課程3年目)⁵⁾の教育内容を調べてまとめた。このテキストの「序文」に次のことが書かれている。「学習者が音楽の総合的な視野を得ることを目指しており、フォルマシオン・ミュージカルの課程3年目で必要な知識全体を、習得出来るように書かれています。」

本稿の「3.各課題の内容」と「4.全ての課と筆記テストの終わりにある、実習の問題内容」については、各課とテストの教育目標に対して配置、構成された実作品をめぐる、各課題と実習の内容を整理しまとめた。各課題の教育内容、実習内容を別々に整理することは、従来のソルフェージュの教育方法による見方に陥る危険性もあるが、「2.各課(レッスン)とテストで学習する教育内容の概要」を補うためにまとめた。

1. このテキストにおける教育のための課題について

第3巻は、22の「課(レッスン)」と3回の「口述テスト」「筆記テスト」で組まれている。全ての課と口述テスト、筆記テストには、実作品を中心に配置、構成された2~11種類の勉強のための課題がある。また、全ての課にはそれぞれ2~8問の実習問題、3つの筆記テストにはそれぞれ1~5問の実習問題がある。課は3~6ページ、口述テストと筆記テストは各2

ページの分量となっている。全ての課と口述テスト、筆記テストの中で勉強する課題は次の23種類である〔(11)(14)～(16)(18)(19)(22)～(24)の課題は第3巻では無い〕。(25)から(32)は第3巻で加えられた課題である。尚、以下の各課題の(1)～(32)の番号は、筆者が整理上付けたもので、順序的な意味などは無い。

(1) 音符の読譜 (2) リズムの記憶 (3) リズムの識別 (4) リズムの読譜 (5) イントネーション (6) 識別 (音程の) (7) 歌う読譜 (歌うことによる読譜) (8) 間違い探し (9) 音符の書き取り (10) リズムの書き取り (12) 即興 (13) 曲を聴いて問いに答える (17) 理論 (20) リズムのある音の読譜 (21) (メロディの) 記憶 (25) 音程 (26) 読譜 (27) 記憶化と即興 (28) 記憶化と移調 (29) 聴取 (30) 音程の書き取り (31) 移調 (32) つながった音程の書き取り

このテキストの「序文」の中で、以下について注意が示されている。



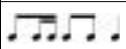
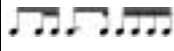

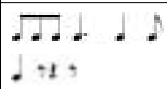
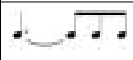


- ・「リズムの読譜」：教育的効果に変化をつけるため、様々な方法が示してある(リズム打ち、音符読み、歌唱、演奏、交互に、または独唱(奏)、二重唱(奏)三重唱(奏)による)。いくつかの課は、伴奏を教師が演奏するか、または生徒が読譜し、リズム打ちする。
- ・「リズムの記憶」：本を閉じて記憶し、その後楽譜を見るようになっている。「リズムの読譜」の準備段階として役に立つ。
- ・「楽器の読譜」：獲得した基礎知識を実現するために、楽器はフォルマシオン・ミュージカルの講座において、声と同じくらい影響がある。2巻とは逆に、生徒のための編曲は予め準備されていない。生徒はより技術的に進んでおり、直接パートを読むことが出来るので、教師にクラスの構成人数に応じた楽器の配分の選択の自由が大きく任されている。
- ・「聴取」：主にオーケストラ作品の抜粋の聴取や、書き取りの別の形式である分析的聴取を徐々に準備する。
- ・「実習(実用的な勉強)」：学習者の自習に役立つよう作成してある(従って、自宅または教室で、一人で行う必要がある)。
- ・「テスト」：このテキスト中の3つのテストは、口述と筆記の勉強を含む。これらのテストは復習またはまとめとする、採点するか否かは、教師に任せられる。

2. 各課(レッスン)とテストで学習する教育内容の概要

2.1. 音符、リズム、音楽用語、課題の種類

各課(レッスン)と口述テスト、筆記テストで学習する教育内容の概要(調性、音符とリズム、理論、課題の種類)を次の<表1>にまとめた。「課題の種類」は、表に書かれた順(同じ課題が複数配置されている課もある)で各課とテストの中に配列されている。次の<表1>が、各課とテストで学習する調性、音符とリズム、理論、課題の種類の概要である。

<表1>各課と口述テスト(口テと略記)、筆記テスト(筆テと略記)で学習する調性、音符とリズム、理論⁶⁾、課題の種類

課	調性	音符	リズム	理論	課題の種類
1				完全4度、行進曲 ・(スタッカート) 	(21)(メロディの)記憶(17)理論(6)識別 (25)音程(9)音符の書き取り(1)音符の読譜 (4)リズムの読譜(5)イントネーション(7)歌う読譜
2				Adagio Allegro molto e vivace	(13)曲を聴いて問いに答える(CD1)(実習)(9) 音符の書き取り(8)間違い探し(4)リズムの読譜 (26)読譜(7)歌う読譜
3				Andante Allegretto Moderato 完全5度、 トニックとドミナント、 導音	(13)曲を聴いて問いに答える(実習)(12)即興 (21)(メロディの)記憶(10)リズムの書き取り (9)音符の書き取り(25)音程(17)理論(1)音 符の読譜(4)リズムの読譜
4				Solo(ソロ)	(2)リズムの記憶(3)リズムの識別(4)リズムの 読譜(1)音符の読譜(10)リズムの書き取り(13) 曲を聴いて問いに答える(CD2)(実習)(9)音符 の書き取り(7)歌う読譜(CD2)
5				完全終止	(13)曲を聴いて問いに答える(CD3)(実習)(17) 理論(12)即興(9)音符の書き取り(CD3)(8) 間違い探し(4)リズムの読譜(7)歌う読譜(CD3)
口 テ 1				ポルカ	(7)歌う読譜(4)リズムの読譜(20)リズムのあ る音符の読譜
筆 テ 1					(10)リズムの書き取り(8)間違い探し(25)音程 (9)音符の書き取り
6				2元的 ⁷⁾ (単純拍子)と 3元的 ⁷⁾ (複合拍子)	(17)理論(3)リズムの識別(25)音程(9)音符 の書き取り(4)リズムの読譜(7)歌う読譜(CD4)
7					(27)記憶化と即興(28)記憶化と移調(17)理論 (25)音程(8)間違い探し(10)リズムの書き取り (9)音符の書き取り(1)音符の読譜(5)イントネ ーション(7)歌う読譜(CD5)
8					(21)メロディの記憶(CD6)(10)リズムの書き取 り(CD6)(8)間違い探し(4)リズムの読譜(25) 音程(7)歌う読譜(CD6)
9	ト短調			短長格 ⁸⁾ () 転調	(2)リズムの記憶(13)曲を聴いて問いに答える (CD7)(実習)(17)理論(4)リズムの読譜(1) 音符の読譜(7)歌う読譜(CD7)(10)リズムの書 き取り(9)音符の書き取り
10				複音程	(13)曲を聴いて問いに答える(実習)(8)間違い 探し(17)理論(29)聴取(複音程の)(4)リズム の読譜(7)歌う読譜
口 テ 2					(7)歌う読譜(1)音符の読譜(4)リズムの読譜 (1)音符の読譜

筆 テ 2			(6)(音程の)識別(30)音程の書き取り(8)間違い探し(9)音符の書き取り
11	イ長調 イ短調	長3和音、 短3和音	(17)理論(6)識別(長3和音、短3和音の)(7)歌う読譜(CD8)(1)音符の読譜(10)リズムの書き取り(9)音符の書き取り(8)間違い探し
12	変ホ長調	 Pizzicato	(28)記憶化と移調(CD9)(4)リズムの読譜(10)リズムの書き取り
13		平行調	(21)メロディの記憶(CD10)(17)理論(10)リズムの書き取り(25)音程(9)音符の書き取り(6)識別(長3和音、短3和音の)(7)歌う読譜(CD10)(1)(低音部譜表の)音符の読譜(CD10)(4)リズムの読譜(26)読譜(縦の)(1)(低音部譜表の)音符の読譜
14			(2)リズムの記憶(4)リズムの読譜(29)聴取(17)理論(7)歌う読譜(CD11)(1)音符の読譜(4)リズムの読譜
15	ハ短調	 転回音程	(17)理論(5)イントネーション(2)リズムの記憶(9)音符の書き取り(10)リズムの書き取り(1)音符の読譜(7)歌う読譜(CD12)(1)音符の読譜
16			(29)聴取(CD13, 14)(実習)(17)理論(2)リズムの記憶(3)リズムの識別(4)リズムの読譜(1)音符の読譜(4)リズムの読譜(8)間違い探し(10)リズムの書き取り(CD13)(7)歌う読譜(CD13)
口 テ 3			(26)読譜(26)読譜(縦の)(4)リズムの読譜
筆 テ 3			(9)音符の書き取り(8)間違い探し(6)音程の識別(30)音程の書き取り
17			(2)リズムの記憶(21)メロディの記憶(13)曲を聴いて問いに答える(8)間違い探し(10)リズムの書き取り(4)リズムの読譜(7)歌う読譜(10)リズムの書き取り(9)音符の書き取り
18	ホ長調	 シシリエンヌ	(13)曲を聴いて問いに答える(CD15, 16)(実習)(10)リズムの書き取り(4)リズムの読譜(7)歌う読譜(CD15)
19			(6)音程の識別(30)音程の書き取り(10)リズムの書き取り(9)音符の書き取り(8)間違い探し(4)リズムの読譜(2声の)(1)音符の読譜(7)歌う読譜(CD17)
20			(13)曲を聴いて問いに答える(CD18)(実習)(7)歌う読譜(2声の)
21			(13)曲を聴いて問いに答える(実習)(21)(メロディの)記憶(31)移調(8)間違い探し(12)即興(32)つながった音程の書き取り(8)間違い探し(9)音符の書き取り(26)読譜(4)リズムの読譜(7)歌う読譜(1)音符の読譜(7)歌う読譜

22			(2)リズムの記憶(3)リズムの識別(10)リズムの書き取り(12)即興(29)聴取(CD19)(7)歌う読譜(CD19)(1)音符の読譜(4)リズムの読譜
----	--	--	--------------------------------------------------------------------------------

2.2. 各課とテストで使われる実作品

各課とテストで使われる実作品を<表2>にまとめた。

<表2> 各課と口述テスト、筆記テストで使われる実作品

課	曲名<作曲者または編曲者名>
1	行進曲<Domenico Corri>、行進曲<C. P. E. Bach>、ドの行進曲<Purcell>、行進曲 Op.65<Prokofieff>(実習)
2	ピアノソナタno1より「トリオ」「歌曲(Da Mann vom Wort) Op.99」「歌曲(Lessing) Op.52 no6」「ドイツのダンス」ピアノソナタ Op.2 no2より「スケルツォ」交響曲第1番より「第4楽章(1~30小節)(付属CD1)(実習)」<Beethoven>
3	「ハンガリーの合唱曲」<作者不明の17世紀の曲>、「ハンガリーのクリスマスの歌」<Z. Gardonyi>、「ハンガリーのダンス」<Jósef Bengrap>、ソナタno3より「メヌエット」<Haydn>、「メランコリー」<Bartók>
4	協奏曲 Op.3 no4より「第2楽章(1~16小節)」協奏曲 Op.3 no7より「アレグロ」「四季」より「秋・第1楽章(1~32小節) Op.8 no3(付属CD2)(実習)」<Vivaldi>
5	「ワルツ第6番 Op.18」「歌曲(野ばら)」「歌曲(Wonne der Wehmut)(付属CD3)(実習)」<Schubert>
	【口述テスト1】「ポルカ」「間奏曲」<Glinka>、「ポルカ」<Joseph Küffner>
	【筆記テスト1】「ポルカ」<Dussek>、「Sterbelieder」<J. S. Bach>
6	「ジムノペディ第3番」「医者(付属CD4)(実習)」<Satie>
7	「歌曲」「民謡第17番」「ドイツ民謡(かわいい羊飼いがいるよ)(付属CD5)」<Brahms>
8	「靴直しとカササギの歌(付属CD6)(実習)」<Milhaud>
9	「おびえたムネアカヒワ、ロンドー(第14オールドル)」「子供のような(第7オールドル)(付属CD7)(実習)」「修道女モニク、ロンドー(第19オールドル)」「勝ち誇ったナイチンゲール(第14オールドル)」<F. Couperin>
10	「子供の歌第4番(実習)」<Chick Corea>
	【口述テスト2】「月のバラード(ユーモラスなシャンソン)」「花へ」「La Zuecca」<E. Lalo>
	【筆記テスト2】「Dich Bet'ich An, Mein Höchster Gott」「Dir, Dir Jehova, Will Ich Singen」<J. S. Bach>
11	「歌曲(EI Tra La La Y EI Punteado)(付属CD8)(実習)」スペインのダンス第4番「Villanesca」12のスペインのダンス第1番「メヌエット Op.5」<Granados>
12	「四季」より「冬・第2楽章(1~8小節)(付属CD9)(実習)」<Vivaldi>
13	「アレグレット」「変奏曲の主題」「歌曲(獵師)(付属CD10)(実習)」「即興曲第1番」「ピアノ作品第2番」<Schubert>
14	「アンダンテ」「ピアノのための作品 KV 33b」「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より「第2楽章(1~16小節)(付属CD11)(実習)」「ソナタ KV 284(第2変奏)」<Mozart>

15	「黒人霊歌」「黒人霊歌(付属CD12)(実習)」<R. Johnson編曲>
16	「ファウストの劫罰」より「空気の精のパレー(1~16小節)(付属CD13)(実習)」<Berlioz>、 「動物の謝肉祭」より「像(抜粋)(付属CD14)」<St. Saëns>
	【口述テスト3】「子供のためのソナタ第1番 Op.118」「少女-憂うつ Op.142 no3」「コラール」「人形の子守歌」「野蛮な騎手」<Schumann>
	【筆記テスト3】「クリスマス」<Claude Balbastre>
17	ピアノ4手のためのロシアの50のポピュラーな歌より第47番、第20番、第29番、第36番、第48番、第15番<Tchaikovsky>
18	「四季」より「春・第1楽章(1~13小節)(付属CD15)(実習)」「春・第3楽章(1~12小節)(付属CD16)(実習)」<Vivaldi>
19	「村人」「優しいうめき声」「カストルとポリュクス」4幕より「ルル」と「パスピエ」「ガボット」より「第2変奏」と「第5変奏」と「第6変奏」「ロンドーのジグ(付属CD17)」<Rameau>
20	「スラブ舞曲第4番(1~16小節)(付属CD18)(実習)」<Dvořák>
21	「ワルツ第2番」「ワルツ遺作」「前奏曲第21番」「主題と変奏」「春」<Chopin>
22	「王の花火の音楽」より第3番「平和(1~16小節)(付属CD19)」「ソナタ第11番」「ソナタ」<Haendel>

3. 各課題の内容

3.1.(1) 音符の読譜

13の課と口述テスト2にあり、第1課、第7課、第16課以外は全て実作品による課題。譜表は、課題によって高音部譜表、低音部譜表、大譜表を使用。ほとんどの課題にフレーズ・マーク、強弱記号が付いている。課題によっては、和音(縦に重なる音符の上からと下からの読譜)がある。次に、用いられる実作品を挙げる。

第3課：「ハンガリーのダンス」<Jósef Bengrap>(低音部譜表+大譜表、2/4拍子、八長調)

第4課：協奏曲 Op.3 no4より第2楽章<Vivaldi>(オーケストラスコア1~16小節、2/4拍子、ホ短調)

第9課：「おびえたムネアカヒワ」ロンドー(第14オールドル)<F. Couperin>(大譜表、12/8拍子、二長調)

口述テスト2：「花へ」(高音部譜表、6/8拍子、イ長調)「La Zuecca」(高音部譜表、2/4拍子、変ホ長調)<E. Lalo>

第11課：「El Tra La La Y El Punteado」<Granados>(ピアノ伴奏パート、3/4拍子、イ長調 イ短調 イ長調)

第13課：「獵師」(低音部譜表、6/8拍子、八短調)「ピアノ作品第2番」(低音部譜表1~9小節、6/8拍子、変ホ長調 変ロ長調)<Schubert>

第14課：「ソナタ KV 284(第2変奏)」<Mozart>(大譜表、2/2拍子、二長調 イ長調 二長調)

第15課：黒人霊歌「When I Fall On My Knees」(大譜表の和音の読譜、2/2拍子、ト長調)

第19課：「ガボット」より第2変奏と第5変奏と第6変奏<Rameau>(大譜表1~8小節、

2/4拍子、イ短調)

第21課：「主題と変奏」< Chopin > (大譜表1～30小節、6/8拍子、変口長調)

第22課：「ソナタ第11番」(大譜表1～8小節、12/8拍子、へ長調 八長調)< Haendel >

3.2.(2) リズムの記憶

7つの課にあり、ほとんどの課題にフレーズ・マーク、強弱記号が付いている。第4課、第9課、第14課、第17課、第22課は、小節線と拍子記号が記されていないリズム譜。第15課はリズム譜を書く。第16課は3種類(3/8拍子、2小節)のリズム譜。

3.3.(3) リズムの識別

第4課、第22課は、「(2) リズムの記憶」で覚えた4種類のリズムのどれを奏したか答える。第6課は、8種類のリズム・フレーズを聴いて覚え、繰り返し練習し、単純拍子が複合拍子が明確にする。次に楽譜を見て同じ練習をし、単純拍子が複合拍子を答えて拍子記号を書く。第16課は、3/8拍子のリズム譜(2小節)3種類の中のどれを奏したか答える。

3.4.(4) リズムの読譜

第7課、第11課、第15課、第20課以外の全ての課と口述テストに次の課題があり、ほとんどの課題に、速度標示、強弱記号、フレーズ・マークが付いている。1声、2声のリズム譜

2声のリズム譜によるカノン 1声のリズムの抜けたところを即興で入れる 単旋律(高音部譜表、低音部譜表) 単旋律(高音部譜表)+1声～2声のリズム譜 大譜表 メロディ(高音部譜表)+大譜表

次に、用いられる実作品を挙げる。

第1課：行進曲< C. P. E. Bach > 単旋律(高音部譜表、2/2拍子、二長調 イ長調)+1声のリズム譜、ドの行進曲< Purcell > 単旋律(高音部譜表、2/2拍子、八長調)+2声のリズム譜

第2課：歌曲「Da Mann vom Wort Op.99」単旋律(高音部譜表、3/4拍子、ト長調、1～13小節)+1声のリズム譜「歌曲(Lessing) Op.52 no6」大譜表(2/4拍子、へ長調、1～8小節)< Beethoven >

第3課：ソナタno3より「メヌエット」< Haydn > 大譜表(3/4拍子、八長調 ト長調、1～8小節)

第5課：歌曲「野ばら」< Schubert > メロディ(高音部譜表)+大譜表(2/4拍子、へ長調 八長調 へ長調)

口述テスト1：間奏曲< Glinka > 大譜表(2/4拍子、口短調、1～8小節)

口述テスト2：「花へ」単旋律(高音部譜表、6/8拍子、イ長調、1～13小節)「La Zuecca」単旋律(高音部譜表、2/4拍子、変ホ長調、1～12小節)< E. Lalo >

第13課：「即興曲第1番」大譜表(4/4拍子、八短調、1～17小節)「ピアノ作品第2番」大譜表(6/8拍子、変ホ長調 変口長調、1～9小節)< Schubert >

第14課：「アンダンテ」大譜表(2/4拍子、八長調、1～8小節)ソナタ KV 284(第2変奏)

大譜表(2/2拍子、二長調 イ長調 二長調) < Mozart >

口述テスト3: 「人形の子守歌」大譜表(2/4拍子、八長調、1~8小節)「野蛮な騎手」大譜表(6/8拍、イ短調 ヘ長調 イ短調) < Schumann >

第17課: ピアノ4手のためのロシアの50のポピュラーな歌より「第47番」(1~11小節)「第20番」(1~12小節)メロディ(高音部譜表、2/4拍子)+大譜表「第29番」大譜表(2/4拍子、二長調、2声、1~24小節) < Tchaikovsky >

第19課: 「カストルとポリュクス」4幕より「ルル」大譜表(6/8拍子、ト長調、2声、1~8小節)「パスピエ」大譜表(3/8拍子、ホ短調、2声、1~15小節) < Rameau >

第21課: 主題と変奏 < Chopin > 大譜表(6/8拍子、変口長調)

第22課: ソナタ(大譜表、12/8拍子、二短調、1~11小節)ソナタ(大譜表、3/8拍子、口短調 二長調、1~39小節) < Haendel >

3.5.(5) イントネーション(第1課、第7課、第15課のみ)

第1課、第7課は、高音部譜表の音とフレーズの課題(第7課は調号が書かれている)で、それぞれの音とフレーズは、同じ課の「(7) 歌う読譜」に含まれるメロディの音程によっている。また、第7課には「(7) 歌う読譜」の伴奏のコード(3声)による課題もある。第15課は、「(7) 歌う読譜」の調性(ハ短調)での転回音程(短3度と長6度、長2度と短7度、完全4度と完全5度、完全5度と完全4度、長6度と短3度)の課題。

3.6.(6) 識別(音程の)

次の課題がある。完全4度かどうかの識別と、完全4度上昇か下降の識別(第1課) 音程名を答える(筆記テスト2、筆記テスト3、第19課) 長3和音と短3和音の識別(第11課、第13課)

3.7.(7) 歌う読譜(歌うことによる読譜)(全て実作品が用いられている)

第3課、第12課以外の全ての課と口述テスト1、口述テスト2にある。ほとんどの課題に、速度表示、強弱記号、フレーズ・マーク、スラー、スタッカートがある。以下のメロディは高音部譜表、伴奏は大譜表である。

第1課: 伴奏付きメロディ〔行進曲 Op.65 < Prokofieff > 八長調、4/4拍子〕

第2課: 大譜表〔交響曲第1番より「第4楽章」(1~30小節) < Beethoven > 八長調、2/4拍子〕

第4課: オーケストラスコア〔「四季」より「秋」第1楽章(1~32小節) Op.8 no3 < Vivaldi > へ長調、4/4拍子〕

第5課: 伴奏付きメロディ〔歌曲「Wonne der Wehmut」 < Schubert > イ短調、2/4拍子〕

口述テスト1: 伴奏付きメロディ〔「ポルカ」 < Glinka > 二短調、2/4拍子〕

第6課: 伴奏付きメロディ〔「医者」 < Satie > 八長調、6/8拍子〕

第7課: 伴奏付きメロディ〔ドイツ民謡「かわいい羊飼いがいるよ」 < Brahms > 変口長調、6/8拍子〕

- 第8課：伴奏付きメロディ〔「靴直しとカササギの歌」< Milhaud > ト長調、6/8拍子〕
- 第9課：大譜表〔「子供のような(第7オールドル)」< F. Couperin > ト短調 変口長調 ト短調、4/4拍子〕
- 第10課：伴奏付きメロディ〔「子供の歌第4番」< Chick Corea > イ短調、6/8拍子〕
- 口述テスト2：伴奏付きメロディ〔「月のバラード(ユーモラスなシャンソン)」< E. Lalo > ト長調、6/8拍子〕
- 第11課：伴奏付きメロディ〔「El Tra La La Y El Punteado」< Granados > イ長調 イ短調 イ長調、3/4拍子〕初見で歌った後、フレーズ・マークを付け、プレスを書く。
- 第13課：伴奏付きメロディ〔「獵師」< Schubert > ハ短調、6/8拍子〕
- 第14課：オーケストラスコア〔「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第2楽章(1～16小節)< Mozart > ハ長調、2/2拍子〕
- 第15課：伴奏付きメロディ〔黒人霊歌「Nobody Knows de Trouble I See」< R. Johnson 編曲 > 2/4拍子〕
- 第16課：大譜表+低音部譜表〔「ファウストの劫罰」より「空気の精のバレエ」(1～16小節)< Berlioz > ニ長調、3/8拍子〕
- 第17課：伴奏付きメロディ〔ピアノ4手のためのロシアの50のポピュラーな歌より「第47番」2/4拍子「第20番」2/4拍子〕大譜表〔ピアノ4手のためのロシアの50のポピュラーな歌より「第29番」ニ長調、2/4拍子、2声〕< Tchaikovsky >〕
- 第18課：オーケストラスコア〔「四季」より「春」第1楽章(1～13小節)ホ長調、4/4拍子「春」第3楽章(1～12小節)ホ長調、12/8拍子< Vivaldi >〕
- 第19課：大譜表〔「ロンドーのジグ」< Rameau > ハ短調、6/8拍子〕
- 第20課：伴奏付き2声のメロディ〔「スラブ舞曲第4番」(1～16小節)< Dvořák > ヘ長調、3/4拍子〕
- 第21課：大譜表〔「主題と変奏」変口長調、6/8拍子、「春」ト短調 変口長調 ト短調、6/8拍子< Chopin >〕
- 第22課：オーケストラスコア〔「王の花火の音楽」より第3番「平和」(1～16小節)< Haendel > ニ長調 イ長調 ニ長調、12/8拍子〕

3.8.(8)間違い探し

次の課題がある。3/8拍子(第16課) 2/4拍子(第17課) 2つの異なる音色による6/8拍子(第8課)のリズムを聴いて、リズム譜の間違いを探す。リズム譜(6/8拍子、4/4拍子)が2元的⁷⁾(単純拍子)か3元的⁷⁾(複合拍子)か、明確にする(筆記テスト2)。音程の間違いを指摘する(筆記テスト1、第7課)。長3和音が短3和音が、間違いを指摘する(第21課)。

次の実作品を聴いて、間違いを探す。第2課：大譜表〔ピアノソナタno1より「トリオ」(1～10小節)< Beethoven > ヘ長調 ハ長調、3/4拍子〕、第5課：大譜表〔「ワルツ第6番Op.18」(1～8小節)< Schubert > 3/4拍子、イ短調〕、第10課：大譜表〔「子供の歌第4番」(26～33小節の伴奏パート)< Chick Corea > 6/8拍子、イ短調〕、第11課：大譜表〔12のスペインのダン

ス第1番「メヌエット」(9～16小節) Op.5 < Granados > 3/4拍子、ト短調〕 筆記テスト3：大譜表〔「クリスマス」(11～20小節) < Claude Balbastre > 4/4拍子、ハ長調〕 第19課：大譜表〔「優しいうめき声」(1～8小節) < Rameau > 3/4拍子、ハ短調〕 第21課：大譜表〔「春」(9～12小節) < Chopin > 6/8拍子、変口長調〕

3.9.(9) 音符の書き取り(全て次の実作品の書き取り)

第1課：行進曲(1～12小節) < Domenico Corri > 大譜表のメロディとバスの抜けた箇所、フレーズ・マークと強弱記号も書く、2/2拍子、ハ長調

第2課：ピアノソナタno1より「トリオ」(1～4小節) < Beethoven > 大譜表のメロディの抜けた箇所、3/4拍子、ヘ長調 八長調

第3課：「ハンガリーのクリスマスの歌」 < Z. Gardonyi > 大譜表の抜けた箇所、2/4拍子

第4課：協奏曲 Op.3 no7 よりアレグロ(1～8小節) < Vivaldi > 大譜表のメロディの抜けた箇所、3/4拍子、ヘ長調 八長調

第5課：歌曲「Wonne der Wehmut」(大譜表の伴奏付)(1～8小節) < Schubert > 高音部譜表の音またはリズムが与えてある、2/4拍子、イ短調

筆記テスト1：「Sterbelieder」(1～6小節) < J. S. Bach > 大譜表の抜けた箇所、4/4拍子、ヘ長調

第6課：ジムノペディ第3番 < Satie > 高音部譜表のメロディの抜けた箇所、3/4拍子

第7課：民謡第17番(大譜表の伴奏付) < Brahms > 高音部譜表のメロディの抜けた箇所、6/8拍子、ホ短調

第9課：「勝ち誇ったナイチンゲール(第14オールドル)」(1～8小節) < F. Couperin > 大譜表のメロディの抜けた箇所(リズムが与えてある)、12/8拍子、ハ長調 ト長調

筆記テスト2：「Dich Bet'ich An, Mein Höchster Gott」(1～7小節) < J. S. Bach > 大譜表のメロディの抜けた箇所、4/4拍子、二長調

第11課：12のスペインのダンス第1番「メヌエット」(1～8小節) Op.5 < Granados > 大譜表の抜けた箇所、3/4拍子、ト短調

第13課：「変奏曲の主題」(1～16小節) < Schubert > 大譜表の抜けた箇所(メロディとバス) 2/4拍子、ハ短調

第15課：黒人霊歌「Gwinter Sing All Along de Way」(大譜表の伴奏付) < R. Johnson 編曲 > 高音部譜表のメロディの抜けた箇所(リズムが与えてある)、4/4拍子、ヘ長調

筆記テスト3：「クリスマス」(1～10小節) < Claude Balbastre > 大譜表のメロディとバスの抜けた箇所、3/4拍子、ハ長調 ト長調

第17課：ピアノ4手のためのロシアの50のポピュラーな歌より第48番(1～4小節) < Tchaikovsky > 大譜表のメロディとバスの抜けた箇所、4/4拍子 5/4拍子 4/4拍子

第19課：「村人」(1～8小節) < Rameau > 大譜表のメロディとバスの抜けた箇所、2/4拍子、ハ短調

第21課：「ワルツ第2番」(1～8、15～16小節) < Chopin > 大譜表の内声のメロディの抜け

た箇所、3/4拍子、イ短調

3.10.(10)リズムの書き取り

以下は、1声のリズムの書き取り課題。

4/4拍子4小節(第4課) 2/4拍子6小節(第17課) 6/8拍子7小節の中の、抜けた箇所を与えられた2種類のリズムを選んで入れる(第18課) 6/8拍子8小節の中の、抜けた箇所のリズムを書く(第19課) 与えられた7種類のリズムから、聴き取ったリズムを選ぶ(第22課)

以下は、実作品の高音部譜表の拍子と音だけ与えてあり、リズムと小節線を書く課題。

ハンガリーの合唱曲(大譜表) <作者不明の17世紀の曲> 2/4拍子、2~14小節(第3課) ポルカ < Dussek > 3/4拍子、へ長調、4小節(筆記テスト1) 歌曲 < Brahms > 6/8拍子、イ短調、6小節(第7課) 「靴直しとカササギの歌」(伴奏付メロディ) < Milhaud > 6/8拍子、ト長調、16~23小節(第8課) 「修道女モニク」ロンドン(第19オールドル)(大譜表) < F. Couperin > 6/8拍子、八長調、8小節(第9課) スペインのダンス第4番「Villanesca」(大譜表) < Granados > 2/4拍子、ト長調、5~10小節(第11課) 「四季」より「冬」第2楽章 < Vivaldi > 4/4拍子、変ホ長調、10~15小節(第12課) 「アレグレット」 < Schubert > 6/8拍子、変ホ長調、8小節(第13課) 黒人霊歌「De Blin' Man Stood on de Road an' Cried」 < R. Johnson 編曲 > 4/4拍子、3~19小節(第15課) 「ファウストの劫罰」より「空気の精のバレエ」(大譜表+低音部譜表) < Berlioz > 3/8拍子、二長調、8小節(第16課) ピアノ4手のためのロシアの50のポピュラーな歌より第36番(大譜表) < Tchaikovsky > 3/4拍子 2/4拍子、6小節(第17課)

3.11.(12)即興(第3課、第5課、第21課、第22課のみ)

第3課:大譜表における、与えられたイ短調のバス(2分音符の主音と属音の繰り返し、5小節)の上に、メロディを即興し、高音部譜表に書く。第5課:与えられたフレーズ(

とも高音部譜表、速度表示、フレーズ・マーク、強弱記号がある、3/4拍子、イ短調、3小節と2拍 2/4拍子、イ短調、2小節 2/4拍子、イ短調、2小節)に続けてメロディを即興し、終わらせる。第21課:与えられた2小節のフレーズ(2題とも高音部譜表、速度表示、フレーズ・マーク、強弱記号があり、6/8拍子、ト短調)に続けてメロディを即興し、楽譜を書く。第22課:即興し、楽譜を書く。

3.12.(13)曲を聴いて(また歌い、演奏し)問いに答える

第2課:交響曲第1番より「第4楽章」 < Beethoven > (オーケストラスコア1~30小節、2/4拍子、八長調)(付属CD1)(実習) 構成部分の数を指摘する 長調か短調か答える 構成部分の各速度表示を、与えられた中から選ぶ 曲を聴き、強弱を書く 曲の最初のフレーズを、与えられた高音部譜表の音から完成する 与えられた高音部譜表の2小節のフレーズを覚えて歌い、音のみの続きを完成する ベートーヴェンのこの曲のテーマ(のメロディ)を、与えられた高音部譜表の音から始まるように移調して楽譜を書き、調性を答える(2題)



第3課：「メランコリー」＜Bartok＞（大譜表16小節、4/4拍子、イ短調）（実習）この曲の音階を歌い、五線に書き、半音、主音、属音、導音を示す。

第4課：「四季」より「秋」第1楽章Op.8 no3＜Vivaldi＞（オーケストラスコア1～32小節、4/4拍子、ヘ長調）（付属CD2）（実習）演奏する楽器を与えられた中から選ぶ 長調か短調か答える 速度表示を、与えられた中から選ぶ リズムの定型表現を書く 強弱記号は何か、その使われ方をどう思うか答える

第5課：歌曲「Wonne der Wehmut」＜Schubert＞（高音部譜表のメロディ＋大譜表の伴奏20小節、2/4拍子、イ短調）（付属CD3）（実習）与えられた各小節間が、1つのフレーズとして正しいか否か答える 調性を答え、音階を五線に書く

第9課：「子供のような（第7オールドル）」＜F. Couperin＞（大譜表20小節、4/4拍子、ト短調 変口長調 ト短調）（付属CD7）（実習）短長格⁸⁾（♪♪）の数を答える この曲の音階を歌い、五線に書く 1～4小節のメロディを高音部譜表に書き取る（調号も書く、拍子記号と始まりの音符は与えてある） 4～9小節のメロディを高音部譜表に書き取る（調号も書く、始まりの音符と後の音は与えてある） と のフレーズの音階を歌い、同じかどうか答え、調性を答え、五線に書く

第10課：「子供の歌第4番」＜Chick Corea＞（高音部譜表のメロディ＋大譜表の伴奏33小節、6/8拍子、イ短調） 1～4小節を記憶して歌い、構成を説明する 1～12小節の右手、左手は何をするか答える、この曲の音階を歌う 異なるリズムを挙げる 1～2小節の伴奏の上に、声か楽器でメロディを即興する 3～6小節のメロディを高音部譜表に書き取る（拍子記号、小節線と始まりの音符は与えてある） 7～10小節のメロディを高音部譜表に書き取る（小節線と音は与えてある）

第17課：ピアノ4手のためのロシアの50のポピュラーな歌より第47番「野原の遊び」＜Tchaikovsky＞（高音部譜表のメロディ＋大譜表11小節、2/4拍子）とのリズムの数を答える。

第18課：「四季」＜Vivaldi＞より「春」第1楽章（オーケストラスコア1～13小節、4/4拍子、ホ長調）（付属CD15）（実習）「春」第3楽章（オーケストラスコア1～12小節、12/8拍子、ホ長調）（付属CD16）（実習）各曲は、2元的（単純拍子）か3元的（単純拍子）か、長調か短調か 各曲の速度表示を与えられた中から選ぶ 各曲のリズム定型を挙げる 各曲の音階の主音を歌う 2つの楽章の調性が同じか答える、その音階を五線に書く 第1楽章のメロディを高音部譜表に書き取る（1～3小節、調号と拍子記号も書く、始まりの音符と後の音は与えてある） 第3楽章1～3小節のメロディを覚えて歌い、1小節のメロディ（開始音のみ与えてある）と3小節のメロディ（音のみ与えてある）を高音部譜表に書く

第20課：「スラブ舞曲第4番」＜Dvořák＞（オーケストラスコア1～16小節、3/4拍子、ヘ長調）（付属CD18）（実習） 1～8小節を聴いて、テーマを演奏する楽器を赤で、伴奏を演奏する楽器を青で囲む（オーケストラの楽器の絵の） 調性は長調か短調か、主音を与えられた4つの音から選ぶ、リズムは2元的（単純拍子）か3元的（単純拍子）か、強弱記号を与えられた4つの中から選ぶ リズム定型を与えられた7つの中から選ぶ テーマを演奏する楽

器を答え、記憶し、高音部譜表に1～8小節のメロディ（フレーズ・マーク、強弱記号も）を書く。1～4小節を1点八音から始まるように、口頭と筆記（高音部譜表）で移調し、調性を答える。10～12小節の第1ヴァイオリンと13～16小節のオーボエのメロディを、高音部譜表（調号と音と1箇所のみ音符が与えられている）に書く。1～16小節を完全に聴き、以上で勉強した全ての要素をオーケストラスコアの上で再確認する。

第21課：歌曲「春」＜Chopin＞（大譜表24小節、6/8拍子、ト短調 変口長調 ト短調）この曲の音階を五線に書く。

3.13.(17) 理論

第1課：与えられた高音部譜表の音から、完全4度上または下の音を歌い、五線に書く。第3課：完全5度音程。第5課：バッハの曲例（大譜表のメロディとバス、イ短調2/4拍子4小節 へ長調3/4拍子4小節 八長調4/4拍子3小節）の完全終止と調性を指摘する。第6課：2元的⁷⁾（単純拍子：2/4拍子、3/4拍子、4/4拍子）と3元的⁷⁾（複合拍子：6/8拍子、9/8拍子、12/8拍子）のリズム。第7課：高音部譜表に変口長調の調号と音階を書き、半音を示す。第9課：転調の意味。第10課：単音程（2度～8度）と複音程の説明。第11課：イ短調とイ長調の主音と2度音の音程（短3度、長3度）主和音（短3和音、長3和音）。それらの音程、和音とその音を（高音部譜表に）書く。第13課：平行調（八長調とイ短調、変口長調とト短調）の説明。第14課：16分音符と16分休符の説明。第15課：転回音程の説明。第16課：3/8拍子の3種類のリズム例（8分音符、16分音符、付点4分音符、8分休符、4分休符を使った2小節）の説明。8分音符と2つ続きの16分音符で、3/8拍子（1小節）のリズムを6通り作り、それらを繋いで（終わりの小節を付点4分音符にして）読む。また、繋ぐ順序を逆にして読む。

3.14.(20) リズムのある音の読譜（口述テスト1のみ）

「ポルカ」＜Joseph Küffner＞低音部譜表のメロディ+大譜表8小節、2/4拍子、ト長調

3.15.(21)（メロディの）記憶（全て実作品による課題）

第1課：行進曲 Op.65＜Prokofieff＞（4/4拍子、八長調）2小節のフレーズを覚え、歌い、五線に書き、指示された音から始めて移調して書く。第3課：「メランコリー」＜Bartók＞（4/4拍子、イ短調）1小節のソプラノとバスを覚えて大譜表に書く。第8課：「靴直しとカササギの歌」＜Milhaud＞（ト長調、6/8拍子）指示された各3小節のフレーズを覚えて、高音部譜表に書く。第13課：「獵師」＜Schubert＞（八長調、6/8拍子）曲の始めを聴き、長調か短調、単純拍子か複合拍子か答え、音階を歌い、書き、4～6小節の歌のフレーズを覚えて楽譜を書く。また、続きを即興し、終わらせ、楽譜を書く。第17課：ピアノ4手のためのロシアの50のポピュラーな歌より第47番＜Tchaikovsky＞（2/4拍子）1～2小節、5～7小節のメロディを覚えて歌い、与えられた高音部譜表の音に、直前の課題「(2) リズムの記憶」のリズムフレーズからリズムを選び、楽譜を完成させる。第21課：「春」＜Chopin＞（6/8拍子、ト短調）1～4小節のメロディを覚えて、楽譜を書く。

3.16.(25) 音程

第1課：与えられた高音部譜表の音の上または下に音を見つけて、音程を答える。第3課：与えられた高音部譜表の音の上または下に音を見つけて、音を書く。筆記テスト1：与えられた高音部譜表の音の上または下に音を見つけて、方向を明確にする。第6課：与えられた高音部譜表の音の上または下に音を補って、音程名を言う。高音部譜表の2音の間違い探し。第7課：高音部譜表の変口長調の音（書かれていない）の音程を答える。与えられた低音部譜表の音の上または下に音を見つける。第8課：完全4度、完全5度、完全8度の各音程の識別。大譜表の与えられた音からの聴音。第13課：大譜表における聴音。

3.17.(26) 読譜（全て実作品による課題）

第2課：ドイツのダンス（大譜表16小節、3/4拍子、二長調）ピアノソナタ Op.2 no2 よりスケルツォ（大譜表8小節、3/4拍子、イ長調）< Beethoven >、第13課：即興曲第1番 < Schubert >（大譜表の縦の和音1～17小節、4/4拍子、ハ短調）、口述テスト3：子供のためのソナタ第1番 Op.118（大譜表14小節、4/4拍子、ト長調）「少女 - 憂うつ Op.142 no3」（高音部譜表のメロディ + 大譜表20小節、3/8拍子、二短調）「コラル」（大譜表8小節の縦の読譜、2/2拍子、ト長調）< Schumann >、第21課：ワルツ遺作（大譜表8小節、3/4拍子、ホ短調）前奏曲第21番（大譜表8小節、3/4拍子、ヘ長調）< Chopin >

3.18.(27) 記憶化と即興（第7課のみ）

2小節のフレーズ（6/8拍子、変口長調 4/4拍子、変口長調）を覚えて、口述と筆記での即興。

3.19.(28) 記憶化と移調（第7課、第12課のみ）

第7課：4小節のメロディ（2/4拍子、ハ長調）を覚えて、口述と筆記で変口長調へ移調。

第12課：「四季」より「冬」第2楽章（オーケストラスコア1～8小節、4/4拍子、変ホ長調 変口長調）< Vivaldi > スコア1～8小節の始めと終わりの音階を歌い、五線に書き、調性、調号を答える。1小節を覚え、変口音から始まるように移調し、五線に書く。9小節以降楽譜なしで聴き、何に気付くか答える。

3.20.(29) 聴取（第10課、第14課、第16課、第22課）

第10課：大譜表に音を書き取り、与えられた音との複音程を答える。第14課：ピアノのための作品 KV 33b < Mozart >（大譜表26小節、2/4拍子、ヘ長調）高音部譜表の調号、拍子記号、始まりの音符の後、音のみの部分 何も書かれてない小節 音符のある小節、を完成させる。第16課：「ファウストの劫罰」より「空気の精のパレー」（1～16小節）（付属CD13）< Berlioz >、「動物の謝肉祭」より「像」（抜粋）（付属CD14）< St. Saens > についての設問 メロディを演奏する楽器の音は高いか低いかわかるとその楽器は弦楽器か管楽器か 楽器

名を答える 伴奏の楽器は何か ダンスをしているのを想像出来るのはどの動物か 長調か短調か。第22課：「王の花火の音楽」より第3番「平和」(オーケストラスコア1～16小節、12/8拍子、二長調)(付属CD19) < Haendel > の設問 速度表示を5種類から選ぶ リズムは2元的⁷⁾(単純拍子)か3元的⁷⁾(複合拍子)か 調性は長調か短調か、主音を選び、音階を書く 1～8小節で、与えられた3種類のリズムの聴こえた回数を答える 第1オーボエと第1ヴァイオリンの1～4小節(高音部譜表の一部音が与えられている)を完成させる 楽譜(第1ホルンの9～12小節)の間違い探し シシリエンヌの2声のリズムを書く。

3. 21. (30) 音程の書き取り(筆記テスト2、筆記テスト3、第19課)

大譜表の与えられた音からの音程と書き取った音を答える。

3. 22. (31) 移調(第21課のみ)

「春」< Chopin > 1～4小節のメロディを、1点変ロ音から始まるように移調して高音部譜表に書く。新しい調名と音階を書く。移調前と移調後の調の関係を答える。

3. 23. (32) つながった音程の書き取り(第21課のみ)

大譜表のソプラノとバスの音の書き取り(6/8拍子、ト短調)。

4. 全ての課と筆記テストの終わりにある、実習の問題内容

全ての課と、筆記テスト1～3にある実習は、第19課、第22課以外は全て実作品を聴き、または歌い、楽譜を通して、各種設問に答える。課によっては、「(13)曲を聴いて問いに答える」の実作品と同じ曲への異なる設問もある。主な設問を以下に挙げる。

フレーズ・マークを付ける。曲がいくつの部分からなるか答える。2つの小節、またはフレーズの相違を指摘する。問いと答えのフレーズを指摘する。曲の性格を指摘する。曲に速度表示を与える。メロディに息継ぎの印を入れる。曲の調性、主音、属音、導音、完全終止を答える。曲における、指示されたパートの保続音の拍数、転調した小節、調名を答える。メロディを歌い、リズムの伴奏を作り書く。行進曲のリズムを作る。実作品と同じ調性、リズムで「子供の歌」を作る。スコア上の楽器名を答える。アルト譜表を使う楽器名とアルト譜表のどの位置を答える。音楽用語(通奏低音、tutti、solo、cantabile、Pizz.、con sord.)を説明する。

直接実作品に関わらない設問を次に挙げる。

長3和音、短3和音を与えられた音の上で作る。イ短調、八長調の完全終止のバスを低音部譜表に書く。指示された拍子、リズム、小節数のリズムを作る。与えられたリズム譜に対する、第2パートのリズム譜を作り書く。与えられた高音部譜表の「問い」のフレーズの調性を指摘し、「答え」を作曲する。与えられた2小節のフレーズの続きを作曲する。指示された条件(イ短調、イ長調、ト短調、八短調、二長調、複合拍子、6/8拍子、完全終止で終わるイ短調)のメロディを作曲する、また歌うか、演奏する。横11種類、縦5種類の

音楽用語のための説明による、単語（音楽用語）のクロスワードパズル。

5. まとめ

このテキスト第3巻の各「課（レッスン）」は、それぞれの学習内容に適格な音楽作品を中心に構成され、フォルマシオン・ミュージカルのあらゆる角度から課題が組まれ勉強法を示している。このテキスト第3巻の教育課題、実習問題についての特徴をまとめる。

22の課とそれぞれ3回ある口述テストと筆記テストにある教育課題は、この巻で新たに加わった8種類を含め、第3巻では23種類ある（本稿の第1章参照）。計28の課とテストで、10以上の課とテストにある教育課題を多い順に挙げると、(7) 歌う読譜〔20の課と2つの口述テスト〕、(4) リズムの読譜〔18の課と3つの口述テスト〕、(9) 音符の書き取り〔14の課と3つの筆記テスト〕、(10) リズムの書き取り〔14の課と1つの筆記テスト〕、(1) 音符の読譜〔13の課と1つの口述テスト〕、(8) 間違い探し〔10の課と3つの筆記テスト〕、(17) 理論〔12の課〕、(13) 曲を聴いて問いに答える〔10の課〕である。以上の教育課題は、(17) 理論を除き、実作品によるものが殆んどである。

(17) 理論で学習する主な内容は、完全4度音程、完全5度音程 イ短調、ヘ長調、八長調の調性と完全終止 転調の意味 単音程、複音程 イ短調とイ長調の主和音（及び主音と度音の音程） 平行調（八長調とイ短調、変口長調とト短調） 単純拍子（2/4拍子、3/4拍子、4/4拍子、3/8拍子） 複合拍子（6/8拍子、9/8拍子、12/8拍子）

第3巻で新たに加わった教育課題の主な特徴は、(29) 聴取は、主に実作品への各種設問 音程と音を聴いて答える 調性の確認と移調の実施、が挙げられる。

第3巻は、全ての課とテストの多くの教育課題で複数の実作品が使用され、理論・知識の学習とともに、音楽作品を読譜、聴音、演奏をして学習する。「(13) 曲を聴いて問いに答える」課題と、第19課と第22課を除く全ての課と3回の筆記テストにある「実習」は、全て実作品を聴き、読譜し、歌い、演奏し、各種設問を通して多くの要素を学習し、音楽作品の理解と表現の獲得を目指して組まれていた。

「(13) 曲を聴いて問いに答える」課題の主な設問、及び特徴のある設問を次に挙げる。()の中の数字は、その設問がある課の数を表す。 指示されたフレーズの書き取り(11) 短長格⁸⁾(♪♩)の数を数える(1) 調性を答え音階を書く(5) テーマを移調し調性を答える(2) 構成部分の数を答える(2) テーマと伴奏のそれぞれを演奏する楽器を、オーケストラの絵の中で答える(1) 曲を聴き、勉強した全ての要素をオーケストラスコアの上で再確認する(1)

実習の主な、また特徴のある問題を次に挙げる。()の中の数字は、その問題がある課、テストの数を表す。 フレーズ・マークを付ける(13) 曲の調性を答える(9) 各種の指示によりメロディを作曲する(8) 指示(拍子、リズム、長さなど)によりリズムを作る(5) 完全終止を指摘する(5) 曲の構成部分の数、曲の性格を答える(各1)

